

ICCR主催 CRDセミナー



統計学実践編Ⅱ 第10回 検査法・診断法を評価 するための統計解析

日時：2019年2月26日 火曜日
17時30分～18時45分（75分）

場所：第1研究棟2階 大会議室

講師：久留米大学/
国立長寿医療研究センター
室谷 健太 先生

対象：病院・研究所 全職員

【講師：室谷健太先生からのメッセージ】

診断法といえば MRI や CT を使った画像診断を思い浮かべるかもしれませんが、統計学的には CEA 等の腫瘍マーカーや PD-L1 を例とする免疫バイオマーカー、さらには予後予測スコアも、広く診断法の 1 つと考えられます。本セミナーではそういった診断法の統計的評価について基礎的事項を学びたいと思います。

診断結果が 2 値のときの評価指標（感度・特異度など）から始め、バイオマーカーのように診断結果が連続量となるときの評価指標（ROC 曲線、AUC、cutoff 選択など）とその解釈も触れたいと思います。

併せて診断法の評価指標をエンドポイントとした臨床試験のサンプルサイズ設計についても議論したいと思います。



なお、ご出席いただいた方には**受講証明書**を発行いたします。
是非、ご参加賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

セミナー後、ご希望の方には**DVD**の貸出をいたします。